

平成29年度 経営発達支援事業報告書

実施期間 平成29年4月～平成30年2月28日

各項目の目標に対し、達成度合いで評価しております。

評価者は評価委員6名であり、各項目の事業評価・検証に記載してある上段はA～Dの内容に基づくものであり、下段は評価者6名のうち、該当する評価を何人行ったかの人数を記載しております。

評価基準

- A：実施され効果が見られたもの、もしくは期待できるもの。
- B：実施されたが効果が見られないもの。
- C：実施されたが大幅に目標を下回っているもの。
- D：実施されなかった

あだたら商工会

I. 経営発達支援事業の内容

1. 地域の経済動向調査に関すること

①各種調査資料の活用による景気動向等の調査

- 各関係機関の調査結果を当会実施の景気動向調査と比較し、小規模事業者の個々のニーズに合わせた情報を巡回・窓口指導の際に情報提供した。また、小規模事業者の経営分析にも活用した。

②巡回による商工会景況調査の実施

- 実施対象期間 平成29年4月～平成30年3月
- 調査対象企業 50事業所
- 内 容 7月、10月、1月の3回巡回による景気動向調査を実施した。
いずれも商工会HPで公開、更に理事会で配布し調査結果を報告した。

【業種別】

建設業	製造業	サービス業	商業
14事業所	9事業所	12事業所	15事業所

【地域別】

安達地域	岩代地域	東和地域
21事業所	15事業所	14事業所

③関係機関との相互連携体制の構築

行政機関、二本松商工会議所及び金融機関等と、より密に連携を図り次の事業を行った。

○創業支援事業

二本松市の認定創業支援事業計画に基づき、上半期より継続して各種事業等を実施。

- 創業支援無料相談会

創業希望者を対象に、当商工会及び二本松商工会議所が連携し、平成29年6月より月1回専門家を講師とし創業に関する無料相談会を継続して実施した。

開催日	参加人数	開催日	参加人数
6月19日	3名	10月16日	1名
7月10日	1名	11月20日	1名
8月17日	2名	12月11日	1名

9月19日	1名	1月29日	1名
-------	----	-------	----

開催場所 あだたら商工会安達振興センター

講師 合同会社 阿部マネジメントオフィス 阿部憲夫 氏

・創業支援連絡会への参加

二本松市、二本松商工会議所、市内金融機関、日本政策金融公庫及び当商工会で組織する創業支援連絡会へ参加し、管内の創業状況や支援状況の報告を行い管内支援機関等の情報共有化を図った。

開催日時 平成29年5月11日 午後3時

平成29年11月1日 午後4時

開催場所 二本松市役所

【地域の経済動向調査 目標：実績】

支援内容	申請時	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
商工会独自景況調査（新規事業） （年間調査事業所数）	未実施	25:35	50:50	100	100	150
独自の景況調査公表回数（新規事業）	未実施	1:1	3:3	3	3	3

事業評価・検証

A	B	C	D
6			

本年度景気動向調査の実施により、管内の経済動向で捉えた課題を次年度において、課題解決に向け取り組んで欲しい。また、今後も調査を継続して実施し、小規模事業者の抱える課題解決の一助となる情報提供を行っていくことが必要である。

行政機関や関係団体と連携し、創業支援等管内の経済活性化に資する事業も継続して実施し、小規模事業者へ情報提供の場（手段）をより多く設けて欲しい。

2. 経営状況の分析に関すること。

①商工会景況調査の活用

巡回による景況調査により、小規模事業者の抱える課題を把握し、課題解決を図り専門家を活用する等支援を実施した。

- ・巡回訪問事業者数 320事業所（平成30年2月28日現在）
- ・専門家活用支援件数 7事業所（ // ）

②商工会経理システム「ネット de 記帳」による経営分析支援

9月に実施した経営分析に関する資質向上勉強会で習得した知識を活かし、記帳代行事業者へ下半期の経営状況を分析し説明支援を行った。また、金融支援や経営計画策定支援にも繋げることができた。

- ・職員資質向上勉強会（経営分析）

開催日 平成29年9月19日

- ・経営分析表を活用した支援事業者数 25件

③経営分析システム及び専門家の活用

全国商工会連合会の「経営分析システム」の活用を計画していたが、支援対象となった事業所が個人であった為、ネット de 記帳の分析システムで対応した。

経営分析による支援後、経営課題の解決を図り、専門家による支援を実施した。

- ・専門家による支援事業者数 2事業所

④税理士との情報交換会

二本松税務署主催の小企業者・農業所得者記帳指導協議会に出席し、東北税理士会二本松支部所属税理士との情報交換を行った。

また、上半期より継続し税理士会のみならず各地域のスタンプ会や商店会で実施している事業の取組みや抱えている課題の把握に努めた。

【経営分析調査 目標：実績】

支援内容	申請時	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
経営指導員・経営支援員による 巡回訪問事業所数	—	300:205	400:303	400	500	500
経営分析対象事業所数(新規事業) (ネット de 記帳データ活用含む)	未実施	10:4	20:25	30	40	50
東北税理士会二本松支部所属の税 理士との情報交換会(新規事業)	未実施	1:1	1:1	1	1	1

事業評価・検証

A	B	C	D
6			

昨年度事業評価検証による課題の1つであった、地域の商店街等の課題や実施してる事業の情報収集へ取り組んだこと、また多くの小規模事業者の経営分析支援に取り組んだことは評価できる。今後も継続して経営分析や情報収集に努め、更に支援の幅を広げて欲しい。

3. 事業計画策定支援に関すること

①経営計画策定セミナー開催による計画策定事業所の掘り起し

事業計画策定に適した専門家を講師に、事業計画策定セミナーを実施。

開催日時 平成29年5月 8日 午後6時～午後9時

平成29年5月11日 //

講師 合同会社 阿部マネジメントオフィス 阿部憲夫 氏

参加人数 6名

②窓口相談、巡回相談による計画策定事業所の掘り起し

巡回・窓口相談時に、経営計画策定の意義を説明し、事業計画策定を目指す小規模事業者の掘り起しを行った。

・事業計画策定事業所数 29事業所

③事業計画策定による補助金等への申請支援

・小規模事業者持続化補助金申請件数（平成28年度補正予算〈追加公募〉） 2件

・二本松市店舗等施設整備補助金申請件数 27件

・マル経相談件数 20件

④経営革新セミナーの開催

中小企業診断士を講師とし、経営革新セミナーを実施した。また、セミナー終了後アンケートを実施し受講者の理解度、経営革新計画認定への意識を把握し、さらに認定計画策定予定事業者へは継続して個社支援を行っている。

開催日時 平成29年7月3日・7月10日（2日間コース）

午後6時～午後8時

講師 柳沼マネジメント・コンサルティング事務所 柳沼芳裕 氏

参加人数 12名

経営革新認定計画策定予定事業者 4事業者

【事業計画策定支援 目標：実績】

支援内容	申請時	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
経営計画作成セミナー回数	1	1:2	1:1	1	1	1

事業計画策定事業者数	4	8:5	12:29	12	16	16
経営革新セミナー開催回数 (新規事業)	未実施	0:1	2:2	2	2	2
経営革新支援者数	0	0:0	4:2	4	4	4
(内経営革新認定計画数)	(0)	(0:0)	(1:0)	(1)	(1)	(1)
小規模事業者持続化補助金	3	4:11	5:7	5	8	8

事業評価・検証

A	B	C	D
6			

金融支援は昨年度と比べ伸びているが、金融の斡旋のみではなく、資金計画策定のポイント等小規模事業者へ支援のしくみ作りが必要ではないか。事業計画策定から、小規模事業者の経営改善に資する取組を継続して実施して欲しい。

4. 事業計画策定後の実施支援に関すること

①巡回訪問による指導・助言

事業計画策定支援を行った小規模事業者へ、事業計画策定後のより効果的な事業実施を目的に継続的な巡回による支援を行った。

- ・事業計画策定実行支援事業者数 29事業所

②事業承継対策

昨年度開催した事業承継セミナーへの参加者の意見、及び事業評価検討会での事業検証を基に、事業を見直し法人・個人別にセミナーを実施した。また昨年度からニーズが多くあった個別相談会に重点を置き実施した。

効果的な事業実施に向け、事前に担当職員が事業承継に対する課題等を事業所に聞き取り調査を行った。また事後支援にも繋げる目的で個別相談会へも同席し専門家からのアドバイス等共有化を図った。

事業承継セミナー&個別相談会

開催日時 法人向け 平成29年12月12日 午後3時～午後5時

個人向け 平成29年12月13日 午後3時～午後5時

講師 税理士法人三部会計事務所 代表社員 三部 吉久 氏

参加人数 法人向け 7名

個人向け 7名

③管理者・従業員等人材育成対策

昨年度の景況調査時に寄せられた要望結果を踏まえ、管理者向け・従業員向けの人材

育成セミナーを実施した。

開催日時 従業員向け 平成29年8月24日 午後3時～午後5時
管理者向け 平成29年8月28日 //

講師 アズ・コミュニケーション 前田 文 氏

参加人数 従業員向け 10名
管理者向け 15名

④IT化対策

小規模事業者の販促手段として SNS を活用する等、IT化による経営課題の解決を目的としてセミナーを実施した。

開催日時 平成30年1月13日 午後5時～午後6時
講師 ソフィアブレイン 代表 小宮山 真吾 氏
参加人数 18名

【事業計画策定後のフォローアップ、事業承継セミナー回数、人材育成セミナー回数

目標：実績】

支援内容	申請時	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
事業計画策定後の事業者へのフォローアップ延べ回数	24	72:40	126:116	126	168	168
事業承継セミナー開催回数(新規事業)	0	1:1	1/2	1	1	1
人材育成セミナー開催回数(新規事業)	0	0:0	1/2	1	1	1

事業評価・検証

A	B	C	D
6			

事業承継において、本年度は小規模事業者が抱える課題を把握することができた。次年度以降、本年度まで収集した事業所の情報を活用し、課題解決に向け伴走的な支援をして欲しい。

5. 需要動向調査に関すること

① 二本松市消費購買動向調査を活用した需要動向調査

二本松商工会議所と連携を図り、前回（平成27年12月）は、二本松市内の小中学

校2年生を対象に買物実態の詳細調査を実施した。本年度調査を予定していたが、事業主体である関係機関が調査を見合わせる事になり、未実施となった。この為、市内の需要動向の指標としてスタンプラリーの際実施されたアンケート結果を活用した。

②県連合会やアンテナショップを活用した需要動向の調査

平成29年10月及び平成30年1月に日本橋ふくしま館においてあだたら商工会物産フェアを開催した。来場者を対象に各回約80名の需要動向調査を実施し、結果分析は外部専門家に委託した。

この調査結果は商工会HPで公開するとともに、小規模事業者の商品開発や販路開拓支援に活用した。

③金融機関との情報交換会の実施

主に、ビジネスマッチング事業(商談会)に関し二本松信用金庫との意見交換を行い、関係強化の必要性を双方で確認した。また、本年1月に金融懇談会を実施し管内の景況情報や資金需要等情報交換を行った。

- ・意見交換会

開催日 平成29年5月16日

- ・金融懇談会

開催日 平成30年1月26日

④情報の分析・公表

景気動向調査及び需要動向調査は商工会HPで都度公開した。また経営発達支援計画に係る事業結果は商工会会報に掲載し、全会員へ郵送した。

【需要動向調査に係る目標:実績】

支援内容	申請時	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
アンケート実施人数(@40名×2日間)	未実施	80:105	80:163	80	80	80
二本松信用金庫との情報交換会	2	2:1	2:2	2	2	2
巡回訪問による情報提供事業者数	未実施	60:5	60:15	60	60	60

事業評価・検証

A	B	C	D
5	1		

本年度まで実施してきた需要動向調査を今後地域経済活性化へ向けた活用方法、また、小規模事業者の販路拡大に繋がる支援方法を検討して欲しい。また、自社で課題解決を図れる事業者支援と並行し、商談会や物産展に参加できない事業者支援も重要である。

6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

①物産展及びビジネス商談会への参加

- ・姉妹都市である長野県駒ヶ根市物産展参加

開催日 平成29年7月23日～24日

出展事業者数 3事業所

- ・ふくしまの美味しいもの食のフェアへの出展支援

開催日 平成29年9月9日～10日

出展事業者数 1事業者

- ・日本橋ふくしま館での当商工会主催物産展開催

昨年度より継続して実施しており、本年度は季節動向を調査する目的で2回開催した。また、販路拡大を図り、出展事業所情報及び逸品を掲載したパンフレットを作成し、物産展開催中来場者へ配布した。

第一回

開催日 平成29年10月27日～28日

出展事業者数 15事業者

第二回

開催日 平成30年 1月19日～20日

出展事業者数 14事業者

- ・ビジネスマッチ東北への参加推進

二本松信用金庫と連携し、東北最大級のビジネス展示・商談会である「ビジネスマッチ東北」への出展推進及び事前事後、当日も同行して支援を行った。

開催日 平成29年11月 9日

開催場所 宮城県「夢メッセみやぎ」

出展事業者数 4事業所

②インターネット活用支援の実施

前述のとおり IT セミナーを実施した。また、巡回時に販路開拓のツールとして前年度講習会で紹介した無料 HP 作成ソフトの推進、本年度セミナーで習得したスマートフォンを活用した販促の事後支援等経営への IT 導入による小規模事業者の経営基盤強化を図った。

③あだたら軽トラ市の開催

昨年度の評価検討会での検証により事業を見直し、事業のマンネリ化の改善を図り、軽トラ市の開催曜日・時間を地域に適した日程へ変更した。また、事業内容も昨年度とは異なるイベント等を取り入れ集客を図った。

【販路開拓支援 目標：実績】

項目		申請時	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
物産展出展支援 (新規事業)	開催回数	未実施	2:2	2:2	2	2	2
	出店者数	未実施	4:6	5:15	5	5	6
	顧客獲得数 (出店者数 ×3件)	—	12:2	15:5	15	15	18
ビジネスマッチン グ商談会展出支援 (新規事業)	参加企業数	未実施	2:2	2:4	3	3	4
	商談件数 (参加企業 数×3件)	未実施	6:4	6:12	9	9	12
IT活用支援	新規活用 事業者数	—	10:13	10:18	10	10	10
あだたら軽トラ市 開催	開催回数	8	8:6	8:6	8	8	8
	出店者数	12	14:11	14:11	15	15	15
	来場者数	400	500:300	500:350	500	600	600
	顧客獲得数 (出店者数 ×3件)	—	42:2	42:22	45	45	45

事業評価・検証

A	B	C	D
6			

各種物産展への参加やイベント開催時の来場者の増加を図り、他の事業とのタイアップ等事業の幅を広げる工夫が必要である。また、来場する客層やニーズを的確に捉え、小規模事業者の販路拡大に繋がる事業展開を検討して欲しい。

II. 地域経済の活性化に資する取組

1. 地域経済活性化事業

①二本松市地域商業活性化事業

二本松市と連携し、3地域（安達・岩代・東和）のスタンプ会と協力し「年末年始大売り出し」及び「抽選会」を実施し、商店街活性化を図った。

売り出し期間 平成29年12月23日～平成30年1月3日

抽選会実施日 平成30年1月7日

支援事業者数 28事業所

② 商店の魅力発信に向けたスタンプラリー事業

二本松市、二本松商工会議所、当商工会が連携し、事業所の商品PRを目的に継続的に実施した。

開催期間 10月1日～11月23日

参加事業所数 13事業所

【地域経済活性化事業開催回数、参加・支援事業所数 目標：実績】

項目		申請時	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
二本松市地域商業活性化事業	開催回数	1	1:1	1:1	1	1	1
	支援事業所数	50	50:27	60:28	60	60	60
スタンプラリー支援	支援事業所数	未実施	20:30	20:13	25	25	25

事業評価・検証

A	B	C	D
5		1	

スタンプラリー事業への参加事業者数減少は、事業のマンネリ化が原因であることは否めない。次年度は、アンケート等を実施しその結果を反映させた事業への改善策を検討して欲しい。

2. 定住人口拡大対策事業

①婚活事業

二本松市、二本松商工会議所と連携し、少子化対策の推進及び二本松市の人口増加、後継者対策として婚活事業を実施した。

第1回

開催日時 平成29年7月23日午後1時～午後6時

開催場所 二本松市「アーバンホテル」

参加人数 43名（カップル成立6組）

第2回

開催日時 平成29年11月25日午後1時～午後6時

開催場所 二本松市「アーバンホテル」

参加人数 43名（カップル成立8組）

②若手後継者育成に向けた地域懇談会

当初計画していた「にほんまつ未来創造ネットワーク会議」は各青年団体の少数の人員で構成されており情報収集に限界があったため、本年度は多くの若手後継者が所属する二本松市内の青年3団体、「二本松青年会議所・二本松商工会議所青年部・当商工会青年部」の交流・連携を目的に開催された「二本松青年団体交流会」に参加し、管内の事業承継や活躍する商店等情報交換を行った。

項目	現状	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
婚活事業参加者数	—	80:96	80:86	80	80	80
にほんまつ未来創造ネットワーク会議 (二本松青年団体交流会)	2	2:0	2:1	2	2	2

【婚活事業参加者数、にほんまつ未来創造ネットワーク会議開催数 目標：実績】

事業評価・検証

A	B	C	D
6			

婚活事業は参加者も多く成果が見られる。今後定住人口に繋がればより効果的な事業になっていく。若手後継者育成懇談会は、商工団体だけの懇談会では業種に偏りがある。今後1次産業等幅の広い業種との懇談会開催の検討も必要である。

Ⅲ. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

1. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

①当商工会職員間の情報共有

毎週金曜日、事務局長、経営指導員、経営支援員の業務管理推進会議を開催し、各地域

や小規模事業者の支援状況の情報共有を図った。また、月に1回開催している経営指導員及び福島県商工会連合会職員による経営支援会議では、県内全体の支援事例等情報収集、検討により研鑽した。ほかに経営支援員、記帳指導職員、復興支援員による経営支援員等会議を開催し、職員相互の情報及び支援スキルの共有化を継続的に図った。

②二本松信用金庫、日本政策金融公庫との情報交換

日本政策金融公庫福島支店が開催するマル経協議会は平成29年6月7日及び10月27日に開催され、県北地区の資金需要動向や金融情勢等情報収集を図った。また、前述のとおり二本松信用金庫と平成30年1月26日に金融懇談会を実施した。

③東北税理士会二本松支部所属税理士との懇談会

小企業者・農業所得者記帳指導協議会への参加により情報交換を行った。

開催日 平成29年 6月20日

平成29年12月14日

2. 経営指導員等の資質向上等に関すること

福島県商工会連合会主催研修会等積極的に参加し、資質向上を図り、習得したスキルを他の職員へのフィードバックに努め職員間での情報共有を図った。

3. 事業の評価及び事業見直しをするための仕組みに関すること

昨年度の経営発達支援事業の事業報告及び成果は、平成29年5月に全会員へ配付しており、併せて商工会HP上でも公表した。また、当商工会役員からの意見を基に事業の見直しを図ることを目的に理事会において事業の実施内容、成果等を報告した。

事業評価検討会の開催

(中間) 事業評価検討委員5名全員中間までの事業評価はAであった。

開催日 平成29年9月28日

(最終)

開催日 平成30年2月26日

事業評価・検証

A	B	C	D
6			

各地域間の小規模事業者の課題、解決策等情報交換を行い、更に小規模事業者支援に尽力していかなければならない。今後も事業の見直しを行い円滑な経営発達支援計画の事業推進に努めていって欲しい。

【 ま と め 】

○経営発達支援事業については、概ね事業計画どおりは実施されたが、目標値に達していない事業が数か所見られた。しかし、目標値には達しているが今後支援の幅を広げ小規模事業者の課題解決支援に継続して取り組む必要がある。また、景況調査や需要動向調査は実施公開されているものの、個社支援に十分活用されておらず、本年度把握した課題の解決の支援が次年度の課題と言える。

○地域経済の活性化に資する取組については、昨年度と比較し参加者増加を図り、事業内容を工夫したものもあったが、目標値には至っておらず、更に事業の見直しが必要不可欠である。

○経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組みについては、各種機関及び職員間での共有が図られ、また、小規模事業者支援の為、職員の資質向上を目的に積極的に研修会等に参加している。今後も小規模事業者支援の幅を広げるため、情報収集、情報共有及び資質向上に努めていく。

